



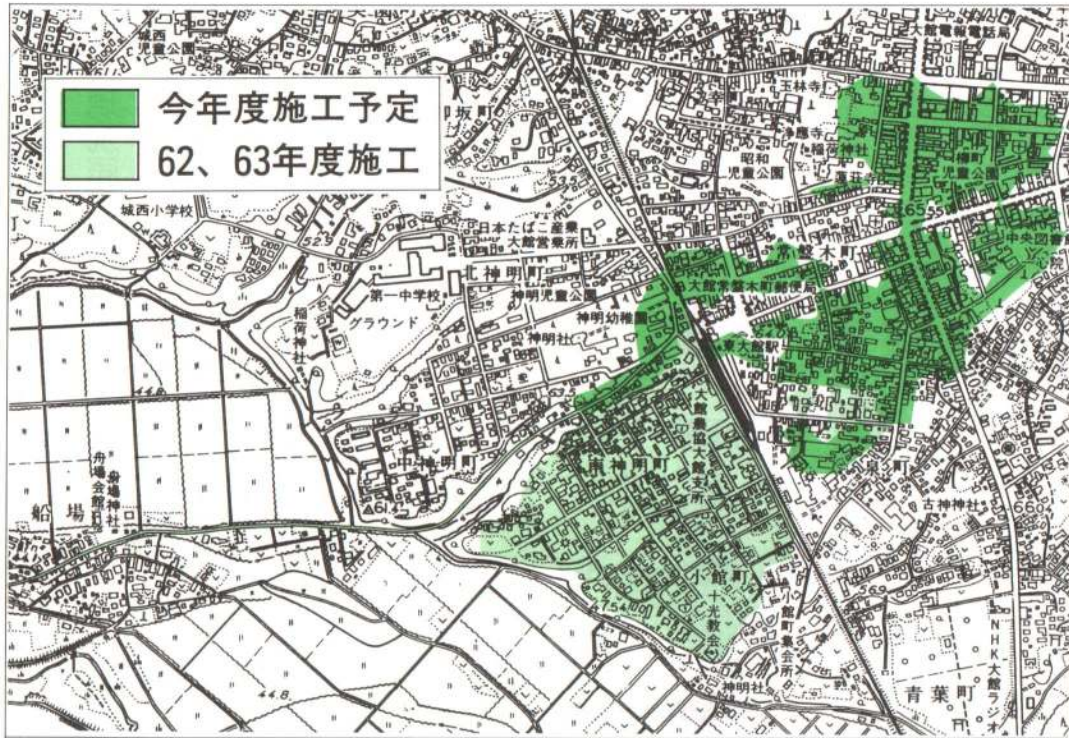
シリーズ⑦

このコーナーではこれまで、下水道の役割やしきみなどについてお送りしてきました。今回は、下水道の工事がどれくらいまで進んでいるか、地図をご覧くださいながらお話ししましょう。

進む下水道工事

市が昭和六十二年度から進めている下水道工事の第一期計画（対象面積百三十畝、対象人口五千七百三十人）では、汚水幹線約三千五百畝、汚水枝線約二万三千七百畝を平成五年度までに整備する予定です（平成四年度に一部供用開始の予定）。

このうち、汚水幹線については昭和六十一、六十三年度に舟場から南神明町にかけて千九十四畝、汚水枝線は六十三年度、南神明町、小館町などにおいて三千九百十九畝を埋設しました。今年度は、常盤木町、泉町、



新町などで、汚水幹線約七百畝、汚水枝線約三千三百畝の埋設を予定しており、四億円を超える事業費を見込んでいます。まもなく、これらの町内で、今年度分の工事に着手することになりますので、工事期間中は

交通の妨げや騒音などで皆さんにご迷惑をおかけすると思いますが、ご理解とご協力をよろしくお願いします。
※下水道についてのお問い合わせは市下水道課 49-3111（内線339）へどうぞ。

▼雨なんかへっちゃらだい

5月14日、市内の8小学校と5中学校で運動会が行われました。この日は、雨が降ったり止んだりのあいにくの天気で、各学校ともプログラムを一部変更しての開催となりました。父兄からは、「カゼをひくのでは…」と心配する声もありましたが、子供たちは「雨なんかへっちゃらだい」とばかりに、元気にグラウンドを走り回っていました。



桂城小学校、雨の中でのマスゲーム



▲森林を守り育てよう

新緑の美しい下内沢国有林で5月23日、大館市植樹祭が開かれました。これは「水源を守り、空気を浄化し、山崩れや洪水を防ぐ働きをする森林を守り育てよう」と行われているもので、今年で5回目。参加した桂城小学校5年生をはじめ森林関係者など約300人が、20アールの山の斜面に、600本の杉苗をていねいに植えました。

フォト・ニュース